

平成25年青森県花き生産状況

農産園芸課

1 概況

平成25年の花き作付面積は120ha（前年比18.4ha減）で、産出額は19億7,100万円（同1億9,400万円減）、栽培戸数は940戸（同56戸減）となった。

表1 生産状況

（単位：ha、千鉢・千本、百万円、戸、%）

年次 \ 項目	作付面積	生産数量	産出額	栽培戸数
25年	120.0	27,376	1,971	940
24年	138.4	31,728	2,165	996
25年/24年	87	86	91	94

2 作付面積

- (1) 切花類の作付面積は91ha（前年比87%）となった。
品目別では、キク類(大中輪ギク、小ギク、スプレーギク)が26haと最も多く、全体の22%を占めた。次いで、サクラ(枝物)が14ha、トルコギキョウ8ha、バラ3ha、ヒマワリ3haの順となった。多くの品目が減少する中、デルフィニウムが前年比131%、アスターが124%と増加した。
- (2) 鉢もの類の作付面積は12ha（前年比98%）となった。品目別にはシクラメンが2haで最も多く、次いでポットローズ、サクラソウがそれぞれ1haとなった。
- (3) 苗もの類の作付面積は5ha（前年比89%）となった。

表2 作付面積

(単位：a, %)

区別	25年		24年		25/24	
	面積	割合	面積	割合		
切花類	9,114	76	10,514	76	87	
主要品目	キク類	2,626	22	2,876	21	91
	サクラ(枝物)	1,447	12	1,703	12	85
	トルコギキョウ	766	6	955	7	80
	バラ	308	3	367	3	84
	ヒマワリ	290	2	352	3	82
	リンドウ	236	2	234	2	101
	アスター	174	1	140	1	124
	ユリ類	172	1	223	2	77
	アルストロメリア	168	1	240	2	70
	宿根カスミソウ	157	1	158	1	99
	グラジオラス	154	1	140	1	110
	ストック	140	1	173	1	81
	デルフィニウム	87	1	66	0	131
鉢ものの類	1,232	10	1,263	9	98	
主要品目	シクラメン	184	2	178	1	103
	ポットローズ	94	1	101	1	93
	サクラソウ	94	1	83	1	113
花木類	562	5	924	7	61	
苗ものの類	528	4	591	4	89	
芝類	400	3	400	3	100	
球根類	140	1	147	1	95	
合計	11,977	100	13,839	100	87	

■ : 重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

3 産出額

(1) 切花類の産出額は10億4千万円(前年比92%)となった。

品目別では、キク類(大中輪ギク、小ギク、スプレーギク)が4億円と最も多く、全体の19%を占めた。次いで、トルコギキョウが1億5千万円、アルストロメリアが1億2千万円、バラが1億1千万円、ユリ類が3千万円の順となった。また、前年に比べアスターが155%、アルストロメリアが146%に増加した。

(2) 鉢ものの類の産出額は5億8千万円(前年比90%)となった。品目別では、ポットローズが1億4千万円と最も多く、次いでシクラメンが6千万円、サクラソウが4千万円となった。

(3) 苗ものの類の産出額は1億9千万円(前年比95%)となった。

表3 産出額

(単位：百万円，%)

区別	年次				25/24	
	25年	割合	24年	割合		
切花類	1,043	53	1,139	53	92	
主要品目	キク類	376	19	495	23	76
	トルコギキョウ	148	8	144	7	103
	アルストロメリア	120	6	82	6	146
	バラ	109	6	96	4	114
	ユリ類	32	2	29	1	110
	ヒマワリ	23	1	29	1	79
	カーネーション	13	1	23	1	57
	宿根カスミソウ	19	1	19	1	100
	カンパニュラ	20	1	19	1	105
	アスター	17	1	11	1	155
	リンドウ	10	1	14	1	71
	サクラ	9	0.5	14	1	64
	グラジオラス	7	0.4	14	1	50
	デルフィニウム	4	0.2	6	0	67
鉢もの類	583	30	647	30	90	
主要品目	ポットローズ	142	7	192	9	74
	シクラメン	64	3	57	3	112
	サクラソウ	38	2	36	2	106
苗もの類	188	10	197	9	95	
花木類	98	5	125	6	78	
芝類	56	3	55	3	102	
球根類	2	0.1	3	0	67	
合計	1,971	100	2,165	100	91	

重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

4 地域別の生産状況

- (1) 地域別の作付面積は、中南地域が39ha（全体の33%）で最も多く、次いで三八地域35ha（同29%）、東青地域23ha（同19%）、西北地域15ha（同12%）の順となり、前年に比べほとんどの地域で減少した。
- (2) 地域別の産出額は、中南地域が6億5千万円（全体の33%）で最も多く、次いで三八地域5億8千万円（同29%）、上北地域3億8千万円（同19%）、西北地域3億円（同15%）の順となった。前年に比べ、中南、西北、及び下北地域でやや増加した。

表4 地域別生産状況

（単位：a、%、百万円）

地域	作付面積					産出額					主な品目
	25年		24年		25/24	25年		24年		25/24	
	割合	割合	割合	割合							
東青	2,312	19	2,314	17	100	57	3	58	3	98	キク、トルコギキョウ、カーネーション
中南	3,912	33	4,586	33	85	654	33	648	30	101	鉢もの類（サクラソウ、シクラメン他）、キク、アルストロメリア、トルコギキョウ、バラ、苗もの類
三八	3,502	29	4,065	29	86	580	29	727	34	80	キク、バラ、花木類、芝類、鉢もの類（シクラメン他）、苗もの類
西北	1,452	12	1,842	13	79	295	15	245	11	120	キク、バラ、トルコギキョウ、宿根カスミソウ、鉢もの類（シクラメン）
上北	762	6	984	7	77	381	19	483	22	79	鉢もの類（ポットローズ他）、苗もの類、バラ、花木類、カーネーション
下北	38	0.3	48.0	0.4	79	7	0.4	4.0	0.2	175	キク、苗もの類
合計	11,977	100	13,839	100	87	1,971	100	2,165	100	91	

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

5 バケット出荷の状況

バケット出荷は、JA花き部会単位で進んでおり、カンパニュラ（バケット出荷率100%）、カーネーション（同36%）、デルフィニウム（同33%）、トルコギキョウ（同31%）、バラ（同12%）、キンギョソウ（同11%）で取り組まれた。

表5 切花類のバケット出荷状況

（単位：a、千本、%）

種類名	施設・露地栽培計			
	作付面積	生産数量	バケット出荷量	バケット出荷率
カンパニュラ	111	368	368	100
カーネーション	114	289	105	36
デルフィニウム	87	40	13	33
トルコギキョウ	766	1,374	421	31
バラ	308	1,223	148	12
キンギョソウ	29	45	5	11
合計	1,103	2,642	574	22

6 JA全農あおもりの取扱状況

- (1) JA全農あおもりの平成25年花き取扱状況は、数量で802万本（前年比96%）、販売額で5億8千万円（同108%）となった。また、県外出荷割合は72%を占めた。
- (2) 県全体の産出額に占めるJA全農あおもりの販売金額の割合は、前年よりも5ポイント高い30%となった。

表6 JA全農あおもりの取扱状況

（単位：千本、百万円、円、%）

年次	項目	農協数	数量	金額	単価	県外出荷割合	シェア
25年		10	8,015	583	73	72	30
24年		10	8,388	542	65	69	25
25年/24年		100	96	108	112	104	118

（注）シェア：（JA全農あおもりの販売金額÷県産出額）×100